

2 - 8 1998年9月3日岩手県内陸北部の地震に伴う地震断層（速報）

Surface fault rupture associated with the earthquake of 3 September 1998, northwest Iwate Prefecture, Japan.-a preliminary report-

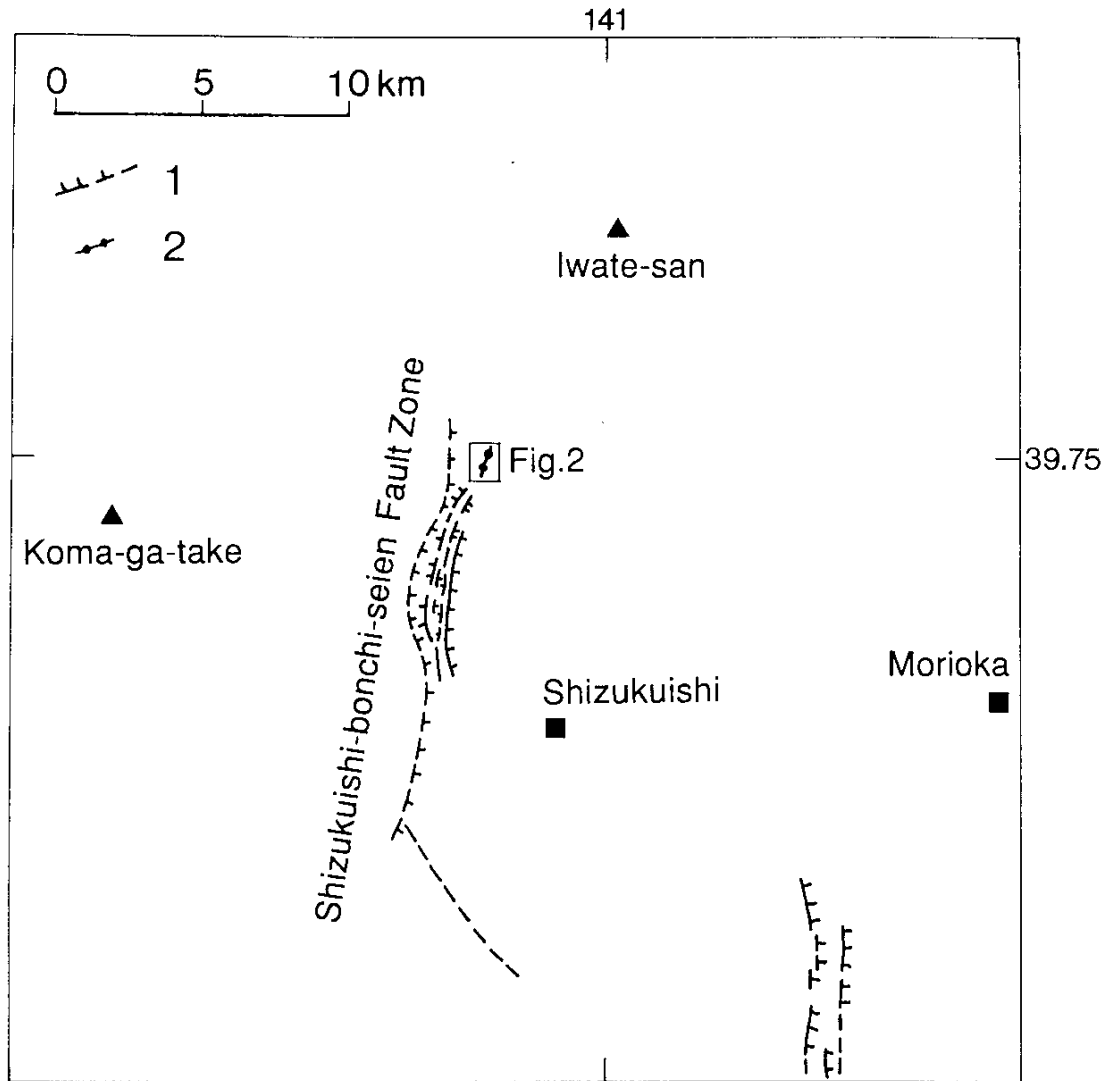
地質調査所
Geological Survey of Japan

1998年9月3日岩手県内陸北部（M6.1）の地震に伴って、雫石盆地西縁断層帯の北端部付近、岩手県岩手郡雫石町西根字篠崎付近に地震断層が出現した（第1図、第2図）。地震断層の延長は、両端点間の直線距離で約750m、南端部での不明瞭な地物の変形を含めると約850mが確認できた（第2図）。地震断層は、おおむね北北東 - 南南西に延び、その変位量は、実変位約0.4m・鉛直成分0.2～0.35m・水平成分0.2～0.4mであった。また、水平変位ベクトルの向きは約110 - 120°であった。明瞭な地震断層が確認できた約750m区間では、変位量・変位ベクトルの向きは、ほぼ一定であった。上記区間の北側および南側においては、目視では地震断層の出現は確認できなかった。

地震断層の主な観察地点とその状況は以下のとおりである（地点番号1 - 10の位置は、第2図に示す）。

1. 舗装された県道に斜行して幅約3mの撓曲崖が出現した。道路のオフセットと短縮量から求めた変位は、実変位量約0.4m・鉛直成分0.2 - 0.25m・水平成分0.29mであり、水平変位ベクトルの向きは112°であった。
2. 牧草地に幅約3 - 7mの右雁行配列する撓曲崖が出現した。変位量の鉛直成分は、0.2 - 0.3mであった。また葛根田川南岸のコンクリート護岸（N50°W）が0.25m短縮した。
3. 農道北西側の杉林では地震断層は目視できなかった。
4. 町道東側の畑に撓曲崖が出現した。また、この付近のU字溝には、約0.2mの東西短縮が認められた。
5. 水田および休耕田に幅4 - 6m程度の撓曲崖が出現した。変位量の鉛直成分は0.25 - 0.3mであり、東西方向の畦と稲株列に0.2mの左オフセットが認められた。
6. 齊内川のコンクリート護岸が、東西方向に0.2 - 0.3m短縮し、西側が隆起した。
7. 休耕田・水田に幅6m程度の撓曲崖が出現した。U字溝のオフセットと短縮量から求めた変位量は、実変位約0.4m・鉛直成分0.2 - 0.25m・水平成分0.35mであり、水平変位ベクトルの向きは約120°であった。
8. 池を横切って幅約10m以上の撓曲崖が出現した。変位量の鉛直成分は0.25m以上であり、南隣の水田では東西方向の畦に若干の左オフセットが認められた。
9. 地表面の撓曲に伴って、簡易水道のコンクリート貯水槽が東に傾動した。また、この南南西約30mでは、山麓斜面に埋設された導水管に約0.2mの東西性短縮変形が認められた。
10. 神社本殿の基礎に、わずかな東西性の短縮変形が認められた。

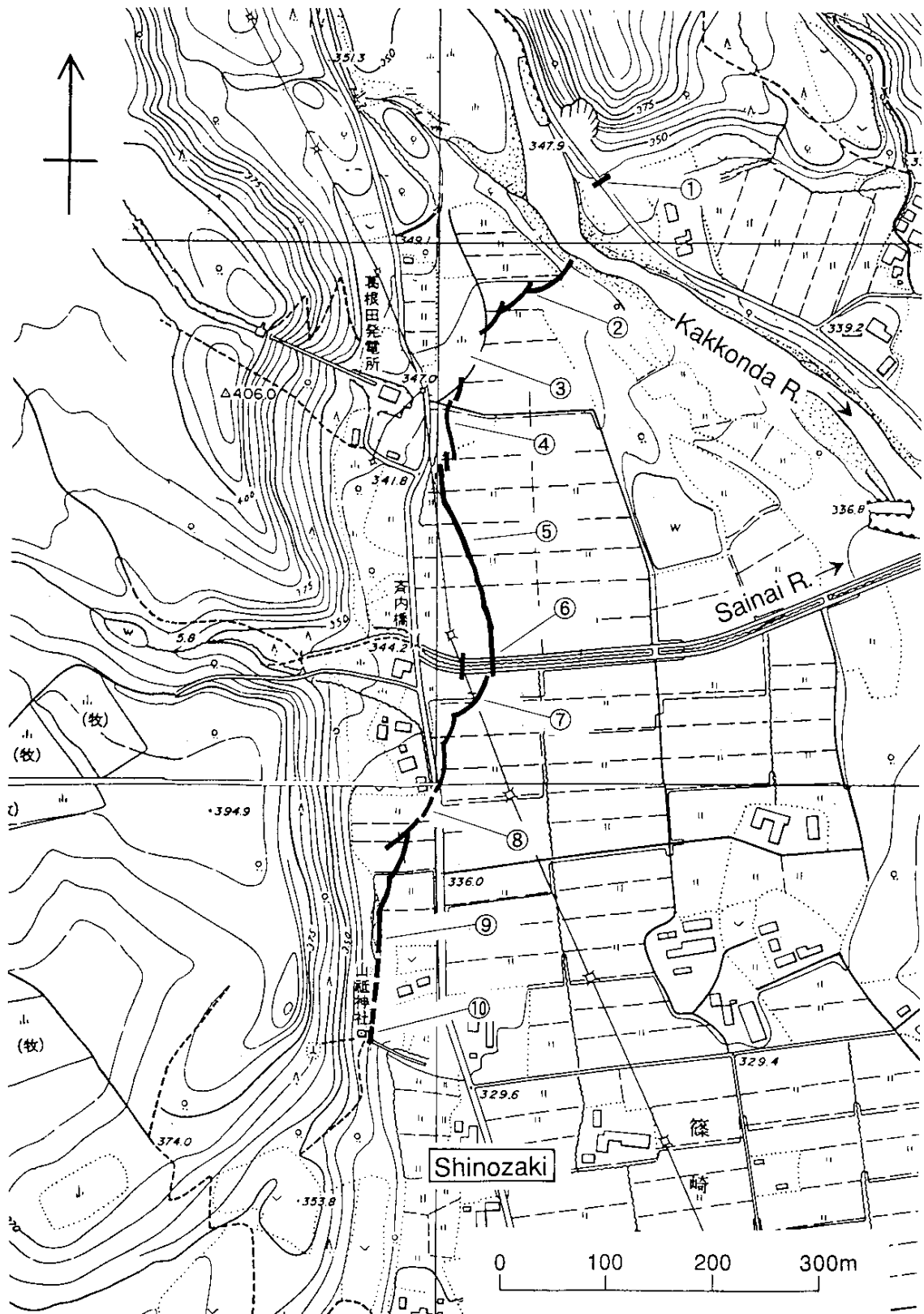
（粟田泰夫・吉岡敏和・吾妻 崇・伏島祐一郎）



第 1 図 地震断層および既知の活断層分布図

Fig.1 Surface fault rupture of 3 September 1998, and the distribution of active fault.

1: active fault, 2 : surface fault rupture.



第2図 地震断層の詳細位置図と観察地点

Fig.2 Detail map of the surface rupture and the localities of observation.